



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年8月9日

上場会社名 大和重工株式会社

コード番号 5610

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 保昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 桑田 豊幸

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東証二部

URL <http://www.daiwajuko.co.jp>

TEL (082) 814-2101

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の業績 (平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	2,354	△ 1.5	26	△ 31.9	64	△ 19.2	56	△ 25.2
24年12月期第2四半期	2,389	△ 2.3	38	—	80	—	75	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	4.19	—
24年12月期第2四半期	5.61	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	5,868	2,319	39.5	171.15
24年12月期	5,537	2,096	37.9	154.68

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 2,319百万円 24年12月期 2,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00			
25年12月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年12月期の業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	4,400 △ 2.5	10 30.4	90 0.3	75 △ 7.1	5.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- | | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 25年12月期 2Q | 13,580,000株 | 24年12月期 | 13,580,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年12月期 2Q | 28,433株 | 24年12月期 | 27,366株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 25年12月期 2Q | 13,552,220株 | 24年12月期 2Q | 13,553,631株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要が継続するなか、平成24年12月の政権交代による新政権下での金融緩和や経済成長政策への期待感から、為替相場が円安に転じるとともに株式市場の回復もみられました。

一方で、長期化する欧州債務危機や新興国経済の減速等の影響を受け、企業を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような厳しい経済環境のもと、当社は積極的な営業活動を展開し新規取引先の獲得や多様化する取引先ニーズへの対応力強化に努めてまいりました。また、受注の減少に対応した生産調整を行う一方で、収益構造改善を図るため、原価低減、経費削減に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、23億54百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益26百万円（前年同期比31.9%減）、経常利益は64百万円（前年同期比19.2%減）、四半期純利益は56百万円（前年同期比25.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〈産業機械関連機器〉

工作機械鋳物部品の分野は、依然として中国をはじめ新興国向けの輸出が堅調であり、今後も持続的に伸長するものと思われます。国内向けの受注は海外に比べ力強さに欠けてはいるものの、徐々に回復基調に入っているものと思われます。しかしながら、先行きの不透明感から引続き厳しい状況が続いております。

日本工作機械工業会による平成25年1月から6月の受注実績は、前年同期比18.7%減となっております。

同期間の当社の工作機械鋳物部品の受注実績は前年同期比5.0%減となっております。

ディーゼルエンジン鋳物部品の分野は、受注に際しては、価格競争力の強い中国製や韓国製などが台頭しており、国内の船舶用ディーゼルエンジンメーカーからは、当社に対しても製品単価の厳しい値下げ要請が続いております。

産業機械鋳物部品の分野では、高炉部品の受注が増加した事により、受注実績が前年に比べ増加となりました。

その結果、当セグメントの売上高は10億69百万円（前年同期比12.8%減）、受注高は11億24百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

〈住宅関連機器〉

住宅関連機器部門におきましては、新設住宅着工戸数が、平成24年9月以降10ヶ月連続で前年同月の水準を上回るなど、消費マインドの改善等もあり、季節調整済年率換算値で90万戸を超える水準となっております。

こうした状況の中、新規取引先の開拓や提案型セールスに徹し、業容の拡大に努めた結果、当社の主要商品であります「鋳物ホーロー浴槽」の拡販は好調に推移し、また、防災商品であります「移動かまど」の販売も堅調に推移いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は12億85百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、58億68百万円となり、前会計年度末に比べ3億31百万円増加いたしました。

この主な要因は、売掛金が2億58百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、35億49百万円となり、前会計年度末に比べ1億8百万円増加いたしました。

この主な要因は、支払手形が91百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、23億19百万円となり、前会計年度末に比べ2億22百万円増加いたしました。

この主な要因は、その他有価証券評価差額金が1億66百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ73百万円減少して、4億64百万円となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、31百万円（前年同四半期は59百万円の使用）となりました。

これは主に仕入債務の増加による収入があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、23百万円（前年同四半期は37百万円の使用）となりました。

これは主に投資不動産の賃貸による収入があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1億28百万円（前年同四半期は1億42百万円の使用）となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出があったことによるものであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成25年5月15日に公表いたしました平成25年12月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきまして、平成25年8月9日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	962,724	884,458
受取手形及び売掛金	1,301,657	1,514,727
商品及び製品	432,087	452,518
仕掛品	56,821	61,783
原材料及び貯蔵品	174,028	183,271
前払費用	1,747	1,602
未収入金	5,038	3,004
その他	4,310	995
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	2,937,415	3,101,361
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	496,436	483,265
機械及び装置（純額）	455,069	397,077
土地	372,873	372,873
その他（純額）	100,247	95,859
有形固定資産合計	1,424,626	1,349,075
無形固定資産	14,918	13,357
投資その他の資産		
投資有価証券	937,337	1,192,569
投資不動産（純額）	153,067	150,304
その他	82,122	73,933
貸倒引当金	△5,166	△5,166
投資損失引当金	△7,000	△7,000
投資その他の資産合計	1,160,360	1,404,641
固定資産合計	2,599,906	2,767,074
資産合計	5,537,321	5,868,436

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	769,861	860,192
短期借入金	1,756,632	1,714,432
未払法人税等	5,457	11,112
賞与引当金	11,000	14,000
その他	194,350	222,480
流動負債合計	2,737,302	2,822,218
固定負債		
長期借入金	281,864	195,748
繰延税金負債	45,215	132,741
退職給付引当金	261,239	281,863
役員退職慰労引当金	41,687	43,412
資産除去債務	17,542	17,025
長期預り敷金	56,115	56,115
固定負債合計	703,664	726,905
負債合計	3,440,966	3,549,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	651,000	651,000
資本剰余金	154,373	154,373
利益剰余金	1,180,540	1,237,377
自己株式	△5,020	△5,106
株主資本合計	1,980,893	2,037,644
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	115,461	281,667
評価・換算差額等合計	115,461	281,667
純資産合計	2,096,354	2,319,311
負債純資産合計	5,537,321	5,868,436

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	2,389,629	2,354,678
売上原価	1,999,580	1,974,753
売上総利益	390,048	379,925
販売費及び一般管理費	351,763	353,836
営業利益	38,284	26,088
営業外収益		
受取利息	117	63
受取配当金	9,138	9,266
受取地代家賃	52,570	52,386
その他	6,423	9,788
営業外収益合計	68,249	71,506
営業外費用		
支払利息	16,149	13,426
不動産賃貸関係費	9,936	9,532
その他	242	9,811
営業外費用合計	26,327	32,771
経常利益	80,206	64,823
特別利益		
償却債権取立益	—	5
災害による保険金収入	9,431	—
固定資産処分益	83	—
特別利益合計	9,514	5
特別損失		
固定資産処分損	270	153
災害による損失	7,159	—
投資有価証券評価損	4,500	—
投資損失引当金繰入額	300	—
特別損失合計	12,229	153
税引前四半期純利益	77,490	64,675
法人税、住民税及び事業税	1,493	7,838
法人税等合計	1,493	7,838
四半期純利益	75,997	56,836

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	77,490	64,675
減価償却費	131,426	91,261
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,500	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,000	3,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	27,859	20,623
前払年金費用の増減額 (△は増加)	1,882	9,697
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,250	1,725
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	300	—
受取利息及び受取配当金	△9,255	△9,330
支払利息	16,149	13,426
災害による保険金収入	△9,431	—
災害損失	7,159	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,500	—
有形固定資産処分損益 (△は益)	186	0
投資不動産賃貸収入	△49,074	△48,981
投資不動産賃貸費用	9,936	9,506
売上債権の増減額 (△は増加)	△105,773	△213,069
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△51,162	△34,636
仕入債務の増減額 (△は減少)	△86,252	90,331
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,072	5,380
その他	6,315	35,953
小計	△52,566	39,562
利息及び配当金の受取額	9,180	9,290
利息の支払額	△16,118	△13,319
災害による保険金収入	9,431	—
災害損失の支払額	△7,278	—
役員保険積立金の増減額 (△は増加)	84	△1,584
法人税等の支払額	△2,560	△2,813
営業活動によるキャッシュ・フロー	△59,827	31,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△175,000	△120,000
定期預金の払戻による収入	175,000	125,000
投資有価証券の取得による支出	△2,100	△1,500
有形固定資産の取得による支出	△71,709	△20,808
無形固定資産の取得による支出	△6,154	△299
投資不動産の賃貸による収入	49,074	48,981
投資不動産の賃貸による支出	△6,960	△6,743
その他	△75	△632
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,924	23,998
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△141,766	△128,316
配当金の支払額	△779	—
その他	—	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142,545	△128,402
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△240,298	△73,266
現金及び現金同等物の期首残高	519,477	537,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	279,178	464,458

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。